

記事 1 第6回車両部会を開催(平成25年12月5日)

2 平成25年度地下鉄事業現地見学会を開催(平成25年12月13日)

1. 第6回車両部会を開催しました。

地下鉄施設等の保守、維持に関する研究会の第6回車両部会を去る12月5日(木)14時より京都私学会館において、8地下鉄事業者15名と鉄道総合技術研究所1名の参加で開催しました。この車両部会は、各鉄道事業者の路線の状況、検査内容及び車両運行状況等に応じた車両検査の周期延伸を成し遂げることで、車両保守コストの削減を図ることを目的として開催しています。

今までの車両部会での研究成果を踏まえながら、東京地下鉄(株)では、今年度より周期延伸の取組みを進めており、仙台市交通局についても平成26年度より着手する計画です。両事業者は、周期延伸のための走行試験を開始するにあたり、事前に定期入場車両においてグリス等の劣化状況を調査し、試験期間中の安全を確認する事前調査を実施するとしており、部会では、この調査内容について議論しました。

また、既に検査周期を延伸している横浜市交通局から周期延伸試験で発生した不具合事例とその対策、試験期間中の安全性の担保方法等が報告され、各事業者が熱心に質問しました。また、今後は、各事業者で若干異なる交換部品の取り替え周期が周期延伸に与える影響を、コスト面、安全面からより細かく分析する必要があるとの意見があり、次回以降の研究課題としました。

この他、車両の構造機能等が似ているリニア車両については、神戸市、大阪市、福岡市、横浜市が共同で周期延伸に取り組むことが、効率的との意見もありましたので、今後、検討を進めることとしました。

第6回車両部会 風景



京都市交通局 醍醐車両工場 車輪削正



2 平成25年度地下鉄事業現地見学会を開催しました。

去る12月13日（金）14時より、横浜市において「平成25年度地下鉄事業現地見学会」を普通会員及び賛助会員16局社29名の参加で開催しました。

この現地見学会は、会員各位の知識・啓発の場として、更に、会員相互の交流の場として毎年度実施おり、今年度の見学会は、平成31年の完成を目指して鉄道・運輸機構が整備を進めている「相鉄・JR直通線」の羽沢駅工区及び西谷トンネル工区を見学しました。

この「相鉄・JR直通線」は、相鉄線西谷駅から羽沢駅（仮称）、新横浜を經由し、東急東横線・目黒線日吉駅まで連絡する「相鉄・東急直通線」の一部で相模鉄道（株）が営業主体となる区間です。

現地見学会は、JR新横浜駅に集合し、貸し切りバスで羽沢駅工区に移動した後、現場事務所で鉄道・運輸機構の新横浜建設所の中西副所長様及び大成JV殿、鉄建JV殿より工事概要と進捗状況の説明を受け、その後、西谷駅～羽沢駅（仮称）間（延長約1.4km）を密封型シールドによるトンネルの掘削と場所打ちコンクリートで地山の補強を即時行う工法（SENS工法：世界で3例目）により施工中の西谷トンネル工区を大成JV殿の現場案内により、羽沢駅の抗口から550mまで一次覆工コンクリートが施工状況及び工事先端部のSENS本体について見学し、丁寧な説明を頂きました。

引き続き、開削工法で施工中の羽沢駅（仮称）のホーム階の施工状況を鉄建JV殿の案内により見学させていただき、現場事務所での質疑応答の後、JR新横浜駅へ移動して現地見学会を無事終了いたしました。

工事概要説明



シールド先端部



（注） 必要に応じ、社内へ転送、回覧などをお願いします。

配信先を変更又は追加した方がよい場合は、新しい配信先の職名、氏名及びメールアドレスをお知らせ下さい。

本短信について、ご意見をお寄せ下さい。

連絡先：mukaida@jametro.or.jp